

石巻市 総合計画

基本構想



- 市街地展開ゾーン
- 田園居住ゾーン
- 海岸生産ゾーン
- 自然環境保全ゾーン
- 地域核 (都市核)
- 地域連携軸と広域連携軸

土地利用の方向性

市街地展開ゾーン

広域的な中枢機能を充実させるとともに、多様な都市機能の集積を活かしたより高次な都市機能を有する、本市の中心的な行政サービスが提供できるゾーンとして整備を推進します。

田園居住ゾーン

田畑の持つ保水機能や美しい景観などの自然環境を大切にしながら、農業生産活動の向上に向けた基盤整備を進めるとともに、身近な商業機能や交流機能の充実を図るなど、快適な居住環境の整備を推進します。

◎地域核 (都市核)

市役所本庁・総合支所を核とした、行政サービス提供の中心的役割を担う拠点です。そのため、各種行政機関の機能充実を図り、市民への行政サービスの利便性を確保するとともに、地域それぞれの個性を活かした地域づくりの推進や、市民の意向を反映できるシステムを構築するなど、地域の核として整備を推進します。

海岸生産ゾーン

森林の保全を含めた漁場環境の保全と漁業生産活動の基盤整備を推進するとともに、充実した交通体系の整備を推進します。

自然環境保全ゾーン

市民に安らぎを与えるとともに、水源かん養等の多面的な機能を有しています。この豊かな自然を次世代に引き継ぐため、積極的な保全活動を推進します。

■■■地域連携軸と広域連携軸

市としての一体化の促進と地域間交流・連携の活性化を図るため、地域核を結ぶ地域連携軸の整備を推進します。また、本市は地理的条件から他都市との連携は不可欠であり、地域連携軸の整備とあわせて、他都市との交流を促進する広域連携軸の整備を推進します。

基本目標

1 ともに創る協働のまち

住民自治の推進によるコミュニティ(地域社会)の再生・自立と多様な主体の協働のまちづくりを進めるとともに、合理的で機能的な自治体への構造改革を目指します。

2 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち

国際的な視点を持ち、確かなものを見極める力、新たなものを創造する力を持った未来の担い手をはぐくむまちを目指します。

3 地域資源を活かして元気産業を創造するまち

新しい産業技術の導入や起業化を支援する社会的な基盤を整えるとともに、多様な交流が地域産業の活力を生む、にぎわいのあるまちづくりを目指します。

4 安心して健やかに暮らせるまち

子どもから高齢者まで、だれもが笑顔で健康に暮らせる環境や支援の仕組みを構築し、暮らしやすいまちづくりを目指します。

5 心ゆたかな誇れるまち

地域の宝である豊かな自然環境や、それらを背景に培われてきた伝統文化を次世代に継承し、地域に愛着と誇りを持って暮らせるまちづくりを目指します。

6 地域の個性が輝き融和するまち

山・森・川・海・島といった地勢や資源を結びつけ、地域の均衡ある発展と一体化を図り、より大きな魅力を発揮できるまちづくりを目指します。

基本施策

- 住民の自治力を強化する
- 市民のまちづくりに対する関心を高める
- 市民満足度の高い行政サービスを提供する
- 安定した行財政運営を構築する

- 「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
- 地域全体で子どもたちを育成する
- 新たな時代を創造する人材を育成する

- 石巻独自の技術開発や新産業を創出する
- いきいきと働ける就業環境を創出する
- 持続的な水産業の発展を図る
- 魅力的な農林業を確立する
- 消費者に信頼される“石巻ブランド”を形成する
- 人々が集い、住み、楽しく過ごせる中心市街地を再生する
- 年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する

- お互いに支えあい生活できる仕組みを構築する
- 生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする
- 安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する
- 安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する
- 自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る
- 日常の身近な安全性を高める
- 災害に対する備えを充実する

- 豊かな自然を次世代に継承する
- 身近な自然や生活環境を守る
- 地域に対する愛着や誇りをはぐくむ
- 市民が個性を活かして輝ける機会をつくる

- 地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる
- 地域間連携により、大きな魅力を創出する
- 快適な生活環境を実現できる地域にする
- だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する

石巻市 総合計画

基本計画